

実務経験のある教員等による授業科目一覧【スポーツトレーナー学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
トレーニング科学1	2	栗若 伸一	油谷 脩	
トレーニング科学2	2	栗若 伸一	油谷 脩	
スポーツ競技各論1	2	範 菜々美		
スポーツ競技各論2	2	範 菜々美		
スポーツ医学1	2	範 菜々美		
トレーニング指導者実習1	1	栗若 伸一	油谷 脩	
トレーニング指導者実習2	1	栗若 伸一	油谷 脩	
運動処方論	2	範 菜々美		
スポーツビジネス1	2	範 菜々美	尾藤 何時夢	
スポーツビジネス2	2	範 菜々美	尾藤 何時夢	
スポーツイベント1	2	範 菜々美	尾藤 何時夢	
スポーツイベント2	2	範 菜々美	尾藤 何時夢	
スポーツ心理学2	2	小佐田 裕実		
キャリアアップセミナーA	2	宮脇 望		
キャリアアップセミナーC	2	寺田 尊紀		
キャリアアップセミナーD	2	寺田 尊紀		
スポーツ自由研究A	2	花澤 晃宏		
スポーツ自由研究C	2	範 菜々美		
スポーツ自由研究D	2	範 菜々美		
ジュニアスポーツ理論	2	範 菜々美		
ジュニアスポーツ実技	2	範 菜々美		
SAQトレーニング実習	1	油谷 信隆		
トレーナー実習2	1	範 菜々美		
トレーナー実習3	1	尾藤 何時夢		
トレーナー実習4	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
トレーナー実習5	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
トレーナー実習6	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
トレーナー応用実習1	1	範 菜々美		
トレーナー応用実習2	1	範 菜々美		
トレーナー応用実習3	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
トレーナー応用実習4	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
トレーナー応用実習5	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
トレーナー応用実習6	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
生涯スポーツトレーナー実習1	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
生涯スポーツトレーナー実習2	1	範 菜々美	尾藤 何時夢	
フィットネスエクササイズ1	1	寺田 尊紀		
フィットネスエクササイズ2	1	寺田 尊紀		
<b>合 計</b>	<b>56</b>			

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校					
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	スポーツ社会学			担当者名	吉田 幸平・寺本 敦司				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者として、「スポーツの意義と価値」について改めて考えてみる</li> <li>・スポーツ指導者として「スポーツ権」について学習していく</li> <li>・スポーツ組織の運営、あり方について学習し、安定した組織運営のマネジメントを学習していく</li> </ul>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの持つ意義と価値を理解し、スポーツの魅力を次世代へ伝えていけるようになる。</li> <li>・スポーツと社会の関係性を考え、ニーズに合ったスポーツニーズに対応できるようになる。</li> </ul>								
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>								
その他	吉田幸平（実務経験なし）、寺本敦司（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	スポーツの意義と価値について（社会におけるスポーツの価値）
2	スポーツの意義と価値について（現代社会とスポーツの価値）
3	スポーツの意義と価値について（地域社会におけるスポーツの価値のとらえ方）
4	スポーツの意義と価値について（政治的・政策的な価値とスポーツプロモーション）
5	文化としてのスポーツ（スポーツとは何か）
6	文化としてのスポーツ（「スポーツ宣言日本」におけるスポーツの意義と価値）
7	文化としてのスポーツ（オリンピズムにおけるスポーツの意義と価値の捉え方）
8	スポーツの価値を守るスポーツ権（スポーツの定義、基本的人権としてのスポーツ、スポーツ権の内容について）
9	スポーツの自治—ガバナンスとコンプライアンス— （スポーツの自治。グッドガバナンスの確率、コンプライアンスについて）
10	スポーツ組織のマネジメント（「目的」のマネジメント、「補完」のマネジメントについて）
11	スポーツ組織のマネジメント（地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」について）
12	スポーツ組織のマネジメント（スポーツ指導者に求められるマネジメント）
13	スポーツ組織のマネジメント（非営利スポーツ組織、スポーツ組織のマネジメントについて）
14	スポーツ組織のマネジメント（スポーツ組織マネジャーのコンピテンシーについて）
15	定期試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	スポーツ倫理学			担当者名	吉田 幸平・寺本 敦司						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導の現場において、起こりうる倫理的問題について学習していく</li> <li>※特に暴力・ハラスメント・ドーピング問題について学習していく</li> <li>・スポーツ指導者の反倫理的言動が何かを学習し、その言動がアスリートなどにどのような影響を与えていくかを学習していく</li> <li>・スポーツインテグリティとは何かを学習し、スポーツ界全体を見直していくために必要なものを学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ実施者が安心してスポーツに取り組めるような環境を考えられるようになる。</li> <li>・スポーツインテグリティの必要性を理解して、スポーツの正しいあり方を考えられるようになる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	吉田幸平（実務経験なし）、寺本敦司（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書			

回数	授業計画
1	ガイダンス・スポーツ倫理学とは
2	暴力・ハラスメントの根絶（暴力・ハラスメント）
3	暴力・ハラスメントの根絶（暴力・ハラスメントの根絶のために）
4	スポーツにおけるインテグリティの確保について
5	アンチ・ドーピング①
6	アンチ・ドーピング②
7	アンチ・ドーピング③
8	スポーツ仲裁（スポーツに関する紛争解決と問題点）
9	スポーツ仲裁（スポーツ仲裁とは）
10	スポーツ仲裁（公財 日本スポーツ仲裁機構（JSAA）、スポーツ仲裁裁判所（CAS））
11	スポーツ倫理（スポーツ倫理が問題となる事案）
12	スポーツ倫理（フェアプレーの精神）
13	スポーツ倫理（スポーツの価値を体現すべきスポーツ指導者として）
14	総復習
15	定期試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツ指導学			担当者名	長澤 和花・寺本 敦司						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者が負う責任、役割について学習していく</li> <li>・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として、安全なスポーツ環境を構築・問題発生時の対処法の流れについて学習していく</li> <li>・各年代（ジュニア期、中・高年）におけるコーチングの留意点・運動プログラム作成に必要なことを学習していく</li> <li>・ハイパーパフォーマンスとは何かを理解し、それを実践していく上で、コーチに必要なものは何かを学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全なスポーツ環境を提供できるようになり、不測の事態においても適切な対応ができるようになる。</li> <li>・加齢現象の特性、競技レベル、性別などの特性を理解し、ニーズに合ったプログラム立案ができるようになる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	長澤和花（実務経験なし）、寺本敦司（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書			

回数	授業計画
1	ガイダンス・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者が負う責任と求められる役割
2	コーチの果たすべき役割
3	安全なスポーツ環境の構築（予防）と問題発生時の対処法
4	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任
5	時代をリードするコーチング
6	ジュニア期のコーチングの留意点
7	年齢区分から見たコーチングの留意点
8	トレーニングの至適年齢、遺伝の影響、運動部活動でのコーチングの留意点
9	中・高齢者へのコーチング（運動指導）の留意点
10	性別の考慮
11	ハイパーパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング①
12	ハイパーパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング②
13	障害者スポーツの現状と課題
14	障害者スポーツ指導者の育成、（公）日本障がい者スポーツ協会のビジョン
15	定期試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	コーチング学			担当者名	長澤 和花・寺本 敦司						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公認スポーツ指導者に最も必要とされる基本的な思考や態度・行動について学習し、グッドコーチに求められる人間力を学習していく</li> <li>・コーチに求められる役割、知識・スキルについて学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーヤーに対し、気づきを与えられるきっかけ作りができるようになる。</li> <li>・プレーヤーの状況を把握し、自身の課題発見、解決することができるようになる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	長澤和花（実務経験なし）、寺本敦司（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	ガイダンス
2	コーチングとは（コーチングとコーチを定義する～コーチングの目的としての4C's）
3	プレーヤーズセンタードなコーチング①
4	プレーヤーズセンタードなコーチング②
5	コーチに求められる敏樹とスキル
6	対人者を磨こう（コミュニケーションスキル）
7	対人者を磨こう（リーダーシップスキル）
8	対人者を磨こう（プレゼンテーションスキル）
9	対人者を磨こう（ファシリテーションスキル）
10	対人者を磨こう（その他対人スキル）
11	対人者を磨こう（コーチの学び～コーチの成長過程）
12	対人者を磨こう（自己認識～コーチディベロッパーの役割）
13	対人者を磨こう（コーチのセルフマネジメント）
14	対人者を磨こう（さまざまな思考法や伝達法）
15	定期試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	トレーニング科学1			担当者名	栗若 伸一・油谷 脩						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツトレーニングの基本的な考え方・理論体系について学習していく</li> <li>・トレーニングの原理・原則(全面性・意識性・漸新性・個別性・反復性)について学習していく</li> <li>・トレーニングの種類について学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングプログラム立案に必要な原理・原則を理解していく。</li> <li>・プレイヤーのパフォーマンス向上に必要なトレーニングプログラムを選択できるようになる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	栗若伸一（スポーツチームにおいてストレングスコーチとして勤務）、油谷脩（スポーツチームにおいてトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店
参考図書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	

回数	授 業 計 画
1	ガイダンス
2	トレーニング指導者の役割
3	トレーニング指導者の実務
4	トレーニング効果の測定と評価
5	体カトレーニング総論
6	長期トレーニング計画
7	レジスタンストレーニング
8	パワートレーニング
9	持久力とトレーニング
10	スピードトレーニング
11	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー
12	特別な対象のためのトレーニングとプログラム
13	生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム
14	トレーニング効果の測定と評価、測定データの分析とデータの活用法
15	まとめ、期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	トレーニング科学2			担当者名	栗若 伸一・油谷 脩						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	・JATI試験対策として、トレーニングについて学び、トレーナーとしての知識を高める										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング効果を科学的根拠をもとに説明することができるようになる。</li> <li>・JATI-ATI資格取得に必要な知識の修得を目標とする。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	栗若伸一（スポーツチームにおいてストレングスコーチとして勤務）、油谷脩（スポーツチームにおいてトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店
参考図書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	

回数	授業計画
1	JATI試験対策1
2	JATI試験対策2
3	JATI試験対策3
4	JATI試験対策4
5	JATI試験対策5
6	JATI試験対策6
7	JATI試験対策7
8	JATI試験対策8
9	JATI試験対策9
10	JATI試験対策10
11	JATI試験対策11
12	JATI試験対策12
13	JATI試験対策13
14	JATI試験対策14
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツ情報処理1			担当者名	範 菜々美・長澤 和花						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作を学んでいく</li> <li>・体力測定会にてデータ収集を行い、集めたデータをパソコンにて処理・分析していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作ができる。</li> <li>・体力測定会にて収集したデータをもとに、パソコンにて処理・分析ができる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度、レポートなどで総合評価する</li> </ul>										
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	体力測定会を行う上での注意事項
2	体力測定会1-1
3	体力測定会1-2
4	データ分析1
5	体力測定会2-1
6	体力測定会2-2
7	データ分析2
8	体力測定3-1
9	体力測定3-2
10	データ分析3
11	体力測定4-1
12	体力測定4-2
13	データ分析4
14	体力測定5
15	データ分析5



科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	スポーツ情報処理2			担当者名	範 菜々美・長澤 和花						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	・体力測定会を行い、入手したデータをパソコンで処理し、分析していく										
到達目標	・体力測定会にて収集したデータをもとに、パソコンにて処理・分析ができる。										
成績評価	・授業態度、レポートなどで総合評価する										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	体力測定1-1
2	体力測定1-2
3	データ分析1
4	体力測定2-1
5	体力測定2-2
6	データ分析2
7	体力測定3-1
8	体力測定3-2
9	データ分析3
10	体力測定4-1
11	体力測定4-2
12	データ分析4
13	体力測定5-1
14	体力測定5-2
15	データ分析5

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	保健体育理論1			担当者名	吉田 幸平						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要な不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の生涯スポーツの現状を理解し説明ができる。</li> <li>児童期、高齢期の運動指導の重要性を理解して指導ができる。</li> <li>生涯スポーツトレーナー（ベーシック）資格を取得する。</li> </ul>										
成績評価	受講態度30%、試験70%										
その他	吉田幸平（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人国際学園

回数	授業計画
1	スポーツと社会環境 1)ガイダンス, 2)生涯スポーツトレーナーとは【動画:水嶋理事長】, 3)生涯スポーツトレーナー概論(教本)
2	スポーツ心理学① ①イメージトレーニング①マインドセット
3	スポーツ心理学② ①イメージトレーニング②イメージの力のトレーニング
4	スポーツ心理学③ ①イメージトレーニング③未来をイメージする
5	スポーツ心理学④ ①ロジック・ブレインとは,ロジック・ブレインの使い方,ロジック・ブレインでわかること,ロジック・ブレインエンジンとは,ロジック・ブレインの分析経緯
6	スポーツ心理学⑤ ①ロジック・ブレインのコミュニケーション論(ベーシック編)自分の中の4つの自分を知る,優先順位,戦略3分類,ヒューマンリレーション,相関図,12分類マトリックス,ビジネスの取り組み,マネジメント,プレゼンテーション
7	スポーツ心理学⑥ ①ロジック・ブレインのコミュニケーション論(オペレーション編)マーケティング・セールス,マネジメント,ビジネススタイル,ビジネスの役割,能力,リズム
8	スポーツ医学① ①e-learning, 人体の区分と名称(6分), 身体の方角をあらわす用語(16分), 代表的な関節運動(教本), 脊柱(教本)
9	スポーツ医学② ①骨の役割(4分),骨の構造(9分),筋の分類(3分),骨格筋について(6分) 2)骨と関節の仕組みと動き(教本) 3)e-learning,筋収縮のメカニズム①②(8分)(6分),「スポーツ」「運動」の必要性(7分) 4)筋肉のしくみとはたらき(教本)
9	スポーツトレーナー学① ①e-learning, ファンクショナルトレーニングとは(14分), 基礎動作の重要性(11分), 正しい姿勢とプランク(24分)
10	スポーツトレーナー学② ①e-learning, 上肢の動きについて(13分), 下肢の動きについて(15分), 2)発達障害と不器用さ(教本), 3)全身を運動させた回旋運動について(16分), 運動指導におけるコーチングについて(31分)
11	指導方法① ①e-learningプログラミングの重要性について(12分), 子ども、高齢者運動指導の基礎知識(22分), 高齢者の運動指導(23分) 2)高齢者の身体とトレーニング(教本)
12	指導方法② ①e-learning児童期の運動指導(17分) 2)子どもの身体とトレーニング(教本)
14	関係法規 ①e-learning医療行為と医療類似行為(11分), 禁止事項(11分), 2)用語解説(教本)
15	まとめ、期末試験 1)生涯スポーツトレーナーベーシック試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校					
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部			
授業科目名	保健体育理論2			担当者名	吉田 幸平				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
						30			
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要な不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の生涯スポーツの現状を把握する。</li> <li>様々な生涯スポーツ、生涯運動を理解して実施できる。</li> <li>健康寿命の延伸のための知識を理解する。</li> <li>生涯スポーツトレーナー（アドバンス）資格を取得する。</li> </ul>								
成績評価	レポート30%、試験70%								
その他	吉田幸平（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本 ティーボールティーチャー指導教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集 丸山克俊・吉永武史・吉村正	学校法人国際学園 体育教育出版会

回数	授業計画
1	スポーツと社会環境 1)ガイダンス, 2)人間関係を築くための心理学
2	スポーツ心理学 1)オープンウィンドウ64作成
3	栄養学① 1)スポーツ栄養学、三大栄養素と、五大栄養素
4	栄養学② 1)エネルギー代謝、再合成、糖新生
5	栄養学③ 1)時間栄養学
6	運動実技指導① 1)ティーボール スポーツコンプライアンス概論
7	運動実技指導② 1)ティーボール ルール規則, 審判方法, 運営方法, 指導法
8	運動実技指導③ 1)ティーボール 投打の基礎動作
9	運動実技指導④ 1)ティーボール 試合運営, 試合形式練習
10	運動指導 1)子どもと高齢者の運動指導方法の特性と留意点
11	スポーツコンディショニング 1)ストレッチ理論, ストレッチの種類, 各ストレッチ方法の理解
12	トレーニング指導① 1)トレーニング指導法理論, 各トレーニング方法の理解 2)トレーニング実践
13	障がいスポーツトレーニング指導① 1)障がいスポーツ, 障がいスポーツの歴史, 車いすの種類と仕組み
14	障がいスポーツトレーニング指導② 1)障がい者のトレーニング適応と実技指導
15	まとめ、期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	スポーツ競技各論1			担当者名	範 菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	競技動作を観察するにあたり、必要なバイオメカニクスと各競技で必要とされる動作について学習する。教科書と配布資料を用いて学習する。										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックに採用されている競技種目のルールなどを理解できるようになる。</li> <li>・各スポーツ競技にて発生する外傷・障害を理解できるようになる。</li> </ul>										
成績評価	出席状況、授業態度、期末試験を総合的に判断する。										
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店
参考図書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体力づくり事業団	南江堂

回数	授 業 計 画
1	バイオメカニクスとは
2	運動の記述
3	力学の基礎1①
4	力学の基礎②
5	動作分析（歩行）□
6	動作分析（走行）□
7	動作分析（投動作）
8	動作分析（打動作）
9	動作分析（蹴動作）□
10	動作分析（跳躍）□
11	動作分析（方向転換）□
12	動作分析（あたり動作）
13	トレーニング動作におけるバイオメカニクス
14	まとめ
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校						
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツ競技各論2			担当者名	範 菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次		
	単位数	2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期
							30			
授業概要	講義で各競技について、競技特性やトレーナーシステムについて学習したのち、実技でトレーニング方法を学習する。各競技の競技特性を知り、競技にあったトレーニングの方法を学ぶ。また、各競技にトレーナーがどのように関わるかを学習する。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックに採用されている競技種目のルールなどを理解できるようになる。</li> <li>・各スポーツ競技にて発生する外傷・障害を理解できるようになる。</li> </ul>									
成績評価	レポート・授業態度にて評価する。									
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	陸上競技の競技特性とトレーナーシステム
2	陸上競技のトレーニングの実際
3	サッカーの競技特性とトレーナーシステム
4	サッカーのトレーニングの実際
5	バスケットボールの競技特性とトレーナーシステム
6	バスケットボールのトレーニングと実際
7	野球の競技特性とトレーナーシステム
8	野球のトレーニングと実際
9	テニスの競技特性とトレーナーシステム
10	テニスのトレーニングと実際
11	ラグビーの競技特性とトレーナーシステム
12	コンタクトスポーツのトレーニングと実際
13	採点系競技の競技特性とトレーナーシステム
14	採点系競技のトレーニングと実際
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校					
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	スポーツ医学1			担当者名	宮崎 刀一・範 菜々美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
						30			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツと健康のかかわりについて学習していく</li> <li>・アスリートの健康管理（メディカルチェック・感染症対策）について学習していく</li> <li>・アスリートの内科的障害（急性の障害・慢性の障害・特殊環境下）について学習していく</li> <li>・女性アスリートの障害と対策（月経・摂食障害・貧血など）について学習していく</li> <li>・外傷・障害の予防（頭頸部・上肢・体幹・下肢・）について学習していく</li> <li>・コンディショニング（ストレッチ・テーピングなど）、救急蘇生法について学習していく</li> </ul>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体組成や生理現象などの内科的な基礎的知識を理解する。</li> <li>・スポーツ活動中に起こりやすい外傷や外科的障害に関する予防法や対処ができるようになる。</li> </ul>								
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>								
その他	宮崎刀一（歯科医院において歯科医師として勤務）、範菜々美（整形外科にて柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店

回数	授業計画
1	健康と健康増進の概念、歴史、生活習慣変容の重要性 わが国の健康づくり施策の現状と、その歴史の変遷について
2	生活習慣病等の概念と運動による予防効果について
3	わが国の高齢社会の現状、介護予防の内容と運動の重要性について
4	検診項目の内容と基本値、運動を始める前のメディカルチェックの重要性
5	スポーツと健康、アスリートの健康管理
6	アスリートの内科的障害と対策①（突然死、熱中症）
7	アスリートの内科的障害と対策② （急性腎不全、低ナトリウム血症・水中毒、運動誘発アナフィラキシー）
8	アスリートの内科的障害と対策③（慢性の障害）
9	特殊環境における障害、女性アスリート障害と対策
10	スポーツによる精神障害と対策
11	アスリートの外傷・障害と対策①（障害・外傷の基礎、頭頸部の外傷・障害、上肢の外傷・障害）
12	アスリートの外傷・障害と対策③（体幹の外傷・障害、下肢の外傷・障害）
13	生活習慣病とは、生活習慣病の運動処方
14	救急救命法
15	定期試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	スポーツ栄養学Ⅰ			担当者名	長澤 和花						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5大栄養素の役割、日常の活動レベルに応じた栄養摂取の目安について学習していく</li> <li>・サプリメントの摂取について考えさせ、利用するにあたり注意点を学習していく</li> <li>・ウエイトコントロール・貧血予防・遠征時・コンディショニングづくりといった目的に合わせた栄養摂取の方法を学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ活動・運動を支える栄養摂取についての知識と水分補給の必要性を理解する。</li> <li>・5大栄養素の役割、食事の基本形を理解する。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店

回数	授業計画
1	5大栄養その役割と特徴、食物の消化・吸収について
2	アスリートの栄養摂取の考え方
3	サプリメント摂取に関する注意点
4	エネルギー消費量の構成
5	基本の食事、補食について
6	水分補給
7	栄養・食事計画の立案（減量・増量）
8	貧血予防
9	疲労骨折予防
10	疲労回復・夏バテ
11	子ども、高齢者、摂食障害と予防
12	女性アスリートの食事の留意点
13	アスリートの競技特性と栄養摂取のガイドライン
14	トレーニングスケジュールと食事
15	定期試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツ心理学1			担当者名	高田 力・長野 史尚						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動機づけと競技成績との関連性を把握し、動機づけを高める方法などについて学習していく</li> <li>・スポーツ活動や運動のパフォーマンスを促進するために必要不可欠な心理的スキルを学習していく</li> <li>・メンタルトレーニングの基礎を学習していく</li> <li>・プレッシャーやあがりが発生するメカニズム、その対処法の基礎を学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツが心にもたらす効果・影響を理解する。</li> <li>・バーンアウトの予防、スランプへの適切な対処法、あがりの克服など試合場面での実力発揮の支援方法を実践できるようになる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	高田力（接骨院において柔道整復師として勤務）、長野史尚（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店

回数	授業計画
1	スポーツにおける動機づけ
2	メンタルトレーニング
3	リラクゼーション
4	他者観察
5	個人差を考慮したコーチング、日常における
6	運動感覚、運動学習
7	フィードバック、心理的サポート・集中力
8	イメージトレーニング
9	あがり、プレッシャー、スランプ
10	性格/自己概念
11	心理的コンディショニング
12	スポーツカウンセリングの活用法
13	運動学習と指導法
14	効果的な指導法
15	定期試験



科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
	○			令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	トレーナー基礎演習			担当者名	長澤 和花						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	・ トレーナーの基本的技術となるストレッチ・テーピング・ウォーミングアップとクーリングダウン指導について学習していく										
到達目標	・ 学習した解剖学の知識をアウトプットして、さらなる理解を深める。 ・ プレゼンテーションを実践することでスキルアップを図る。										
成績評価	・ 出席点 ・ 終講試験 ・ 授業態度										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体力づくり事業団	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	ストレッチ概論
2	下肢のストレッチ
3	上肢のストレッチ
4	体幹のストレッチ
5	動的ストレッチ
6	ウォーミングアップ・クーリングダウン概論①（目的、効果、重要性）
7	ウォーミングアップとクーリングダウン概論②（方法、時間、構成）
8	ウォーミングアップとクーリングダウン実技①
9	ウォーミングアップとクーリングダウン実技②
10	テーピング概論
11	足関節のテーピング①
12	足関節のテーピング②
13	足底アーチのテーピング
14	まとめ
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校 令和6年度 スポーツトレーナー学科 昼間Ⅱ部					
		○		担当人名		栗若 伸一・油谷 脩			
授業科目名	トレーニング指導者実習1			1年次		2年次		3年次	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数		30		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種トレーニングについて学び、トレーニング機材の正しい使い方、正しいトレーニングの方法を習得する</li> <li>トレーニングプログラムの立案をできるように学習していく</li> </ul>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>各マシントレーニングの正しい使用方法・注意点を説明できるようになる。</li> <li>フリーウェイトトレーニングを正しく・安全に実践できるようになる。</li> </ul>								
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席点</li> <li>実技試験</li> <li>授業態度</li> </ul>								
その他	栗若伸一（スポーツチームにおいてストレングスコーチとして勤務）、油谷脩（スポーツチームにおいてトレーナーとして勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	トレーニング指導者テキスト[理論編] [実践編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店
参考図書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体カづくり事業団	南江堂

回数	授 業 計 画
1	レジスタンストレーニングについて
2	上肢のマシントレーニング座学①、上肢のマシントレーニング実技①
3	上肢のマシントレーニング実技②
4	下肢のマシントレーニング座学①、下肢のマシントレーニング座学①
5	下肢のマシントレーニング実技②
6	上肢のフリーウェイトトレーニング①
7	上肢のフリーウェイトトレーニング②
8	下肢のフリーウェイトトレーニング①
9	下肢のフリーウェイトトレーニング②
10	パワートレーニングの実技と指導法
11	持久カトレーニングの実技と指導法
12	スピードトレーニングの実技と指導法
13	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法
14	トレーニングプログラムの立案
15	実技試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	トレーニング指導者実習2				担当者名	栗若 伸一・油谷 脩					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	・JATI試験対策として、トレーニングについて学び、トレーナーとしての知識を高める										
到達目標	・JATI試験に必要なトレーニングについて理解を深める。										
成績評価	・出席点 ・終講試験 ・授業態度										
その他	栗若伸一（スポーツチームにおいてストレングスコーチとして勤務）、油谷脩（スポーツチームにおいてトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	トレーニング指導者テキスト[理論編] [実践編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店
参考図書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体力づくり事業団	南江堂

回数	授 業 計 画
1	JATI試験対策1
2	JATI試験対策2
3	JATI試験対策3
4	JATI試験対策4
5	JATI試験対策5
6	JATI試験対策6
7	JATI試験対策7
8	JATI試験対策8
9	JATI試験対策9
10	JATI試験対策10
11	JATI試験対策11
12	JATI試験対策12
13	JATI試験対策13
14	JATI試験対策14
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	運動処方論			担当者名	範 菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防における身体活動・運動の必要性とその期待できる効果について学び、性、年齢などの諸条件を考慮した安全にかつ効果的な運動プログラムを立案できるよう学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動指導を処方していく上で必要な情報を整理し、安全な処方ができるようになる。</li> <li>年齢、性差、生活習慣病など、クライアントの状況に応じた運動処方ができるようになる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席点</li> <li>終講試験</li> <li>授業態度</li> </ul>										
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体力づくり事業団	南江堂
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	運動効果と運動不足が健康に与える影響
2	トレーニングの原則と効果
3	エクササイズガイドについて
4	健康づくりのための運動プログラム① (作成上のポイントについて)
5	健康づくりのための運動プログラム② (加齢やトレーニング、環境による変化について)
6	健康づくりのための運動プログラム③ (ウォーミングアップとクーリングダウンについて)
7	有酸素運動の特徴と効果①
8	有酸素運動の特徴と効果②
9	有酸素運動の特徴と効果③
10	肥満と運動
11	糖尿病と運動
12	高血圧および脂質異常症と運動
13	虚血性心疾患と運動
14	高齢者と運動
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	体力測定法			担当者名	長澤 和花						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各体力構成要素の具体的な測定方法ならびに体カテストの実践と評価について学び、それぞれの測定結果を身体活動・運動やトレーニングに応用できるように学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力測定に必要な手法を理解する。</li> <li>体力測定法で計測したデータをもとに被検者に対してフィードバックしていけるようになる。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席点</li> <li>終講試験</li> <li>授業態度</li> </ul>										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体力づくり事業団	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	体力の概念①
2	体力の概念②
3	測定①（有酸素性能力）
4	測定②（無酸素性能力）
5	測定③（最大酸素摂取量）
6	測定④（無酸素性代謝閾値）
7	測定⑤（体脂肪量-インピーダンス・皮脂厚法）
8	体カテストの測定
9	体カテストの評価活用方法
10	体カテスト実習①
11	体カテスト実習②
12	体カテスト実習③
13	体カテスト実習④
14	まとめ
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツビジネス1			担当者名	長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	・スポーツ業界で活躍する方たちの講演会を通して、業界におけるビジネスの理解を深める										
到達目標	・スポーツ業界におけるいろんなビジネスについて説明ができる。										
成績評価	・出席点、授業態度、レポートなどで総合評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	特別講演会 1
2	特別講演会 2
3	特別講演会 3
4	特別講演会 4
5	特別講演会 5
6	特別講演会 6
7	特別講演会 7
8	特別講演会 8
9	特別講演会 9
10	特別講演会 10
11	特別講演会 11
12	特別講演会 12
13	特別講演会 13
14	特別講演会 14
15	特別講演会 15

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツビジネス2			担当者名	長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	・スポーツ業界で活躍する方たちの講演会を通して、業界におけるビジネスの理解を深める										
到達目標	・スポーツ業界におけるいろんなビジネスについて説明ができる。										
成績評価	・出席点、授業態度、レポートなどで総合評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	特別講演会 1
2	特別講演会 2
3	特別講演会 3
4	特別講演会 4
5	特別講演会 5
6	特別講演会 6
7	特別講演会 7
8	特別講演会 8
9	特別講演会 9
10	特別講演会 10
11	特別講演会 11
12	特別講演会 12
13	特別講演会 13
14	特別講演会 14
15	特別講演会 15

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツイベント1			担当者名	長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	・地域のスポーツイベントなどへの参加を通して、イベントの企画・運営について学んでいく										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントを企画することができる。</li> <li>・スポーツイベントを運営することができる。</li> </ul>										
成績評価	・出席点、授業態度、レポートなどで総合評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション
2	マラソン大会トレーナーブース運営1
3	マラソン大会トレーナーブース運営2
4	マラソン大会トレーナーブース運営3
5	マラソン大会トレーナーブース運営4
6	マラソン大会トレーナーブース運営5
7	マラソン大会トレーナーブース運営6
8	ウォーキング大会トレーナーブース運営
9	地域スポーツイベント1
10	地域スポーツイベント2
11	地域スポーツイベント3
12	地域スポーツイベント4
13	地域スポーツイベント5
14	地域スポーツイベント6
15	地域スポーツイベント7



科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツイベント2			担当者名	長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	・地域のスポーツイベントなどへの参加を通して、イベントの企画・運営について学んでいく										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントを企画することができる。</li> <li>・スポーツイベントを運営することができる。</li> </ul>										
成績評価	・出席点、授業態度、レポートなどで総合評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション
2	マラソン大会トレーナーブース運営 1
3	マラソン大会トレーナーブース運営 2
4	マラソン大会トレーナーブース運営 3
5	マラソン大会トレーナーブース運営 4
6	マラソン大会トレーナーブース運営 5
7	マラソン大会トレーナーブース運営 6
8	ウォーキング大会トレーナーブース運営
9	地域スポーツイベント 1
10	地域スポーツイベント 2
11	地域スポーツイベント 3
12	地域スポーツイベント 4
13	地域スポーツイベント 5
14	地域スポーツイベント 6
15	地域スポーツイベント 7

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	運動生理学			担当者名	宮崎 刀一						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体活動、運動、スポーツ実践時の一過性の生体反応や、継続的なトレーニングによって身体機能がどのように適応するかを学習する</li> <li>・体力と発育・発達と老化の関係について学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力・運動能力の向上に必要な筋、エネルギー供給方法について理解する。</li> <li>・運動・スポーツによって生じる身体の変化を、スポーツ現場に当てはめて理解する。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	宮崎刀一（歯科医院において歯科医師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	入門運動生理学	勝田茂	杏林書院
参考図書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店

回数	授業計画
1	筋収縮とエネルギー供給系
2	筋繊維の種類とその特徴
3	神経系の役割
4	筋の収縮様式と筋力
5	運動と循環
6	運動と呼吸
7	運動とホルモン
8	筋疲労の要因
9	運動と体温調節
10	運動と栄養
11	身体組成と肥満
12	運動処方
13	運動と生活習慣病
14	老化に伴う身体機能の変化
15	定期試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	運動器の解剖と機能1				担当者名	長澤 和花					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動器の機能解剖について学び、トレーナーとして必要な知識を身につける</li> <li>※運動器の解剖と機能1では骨学を中心に学ぶ</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレーナーに必要な運動器の機能解剖（主に骨）について説明ができる。</li> </ul>										
成績評価	授業態度・小テスト・終講試験にて総合的に評価する。										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店
参考図書			

回数	授業計画
1	骨総論1
2	骨総論2
3	上肢(鎖骨、肩甲骨)
4	上肢(上腕骨、橈骨、尺骨)
5	上肢(手根骨、中手骨、指骨)
6	上肢の関節
7	下肢(寛骨、大腿骨、膝蓋骨)
8	下肢(脛骨、腓骨)
9	下肢(足根骨、中足骨、趾骨)
10	下肢の関節
11	体幹(胸骨、肋骨)
12	体幹(頸椎、胸椎)
13	体幹(腰椎、仙椎、尾椎)
14	体幹の関節
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	運動器の解剖と機能2				担当者名		長澤 和花				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動器の機能解剖について学び、トレーナーとして必要な知識を身につける。</li> <li>※運動器の解剖と機能2では筋学を中心に学ぶ。</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレーナーに必要な運動器の機能解剖（主に筋）について説明ができる。</li> </ul>										
成績評価	授業態度・小テスト・終講試験にて総合的に評価する。										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	筋総論1
2	筋総論2
3	上肢の筋①
4	上肢の筋②
5	上肢の筋③
6	上肢の筋④
7	下肢の筋①
8	下肢の筋②
9	下肢の筋③
10	下肢の筋④
11	体幹の筋①
12	体幹の筋②
13	体幹の筋③
14	体幹の筋④
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部					
授業科目名	スポーツ栄養学2			担当者名	高田 力						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5大栄養素の役割、日常の活動レベルに応じた栄養摂取の目安について学習していく</li> <li>・サプリメントの摂取について考えさせ、利用するにあたり注意点を学習していく</li> <li>・ウエイトコントロール・貧血予防・遠征時・コンディショニングづくりといった目的に合わせた栄養摂取の方法を学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリートにおける栄養・食事摂取の意義を理解する。</li> <li>・トレーニング状況、試合前・中・後などを考慮した具体的な食事摂取の方法を理解する。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他	高田力（接骨院において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リファレンスブック	公益財団法人日本スポーツ協会	
参考図書	トレーニング指導者テキスト[一般編]	NPO法人日本トレーニング指導者協会	大修館書店

回数	授業計画
1	5大栄養その役割と特徴、食物の消化・吸収について
2	アスリートの栄養摂取の考え方
3	サプリメント摂取に関する注意点
4	エネルギー消費量の構成
5	基本の食事、補食について
6	水分補給
7	栄養・食事計画の立案（減量・増量）
8	貧血予防
9	疲労骨折予防
10	疲労回復・夏バテ
11	子ども、高齢者、摂食障害と予防
12	女性アスリートの食事の留意点
13	アスリートの競技特性と栄養摂取のガイドライン
14	トレーニングスケジュールと食事
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
		○		令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツ心理学2			担当者名	小佐田 裕美・長澤 和花						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択理論について学習していく</li> <li>・動機づけと競技成績との関連性を把握し、動機づけを高める方法などについて学習していく</li> <li>・スポーツ活動や運動のパフォーマンスを促進するために必要不可欠な心理的スキルを学習していく</li> <li>・メンタルトレーニングの基礎を学習していく</li> <li>・プレッシャーやあがりが発生するメカニズム、その対処法の基礎を学習していく</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチベーションやパフォーマンス向上に必要な知識と方法について理解する。</li> <li>・スポーツ心理学の知識を活かしてスポーツ指導現場で応用ができる。</li> </ul>										
成績評価	レポート、授業態度、出席率を総合的に評価する。										
その他	小佐田裕美（教育現場において選択理論心理士として勤務）、長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	選択理論心理学-1
2	選択理論心理学-2
3	選択理論心理学-3
4	選択理論心理学-4
5	スポーツにおける動機づけ
6	メンタルトレーニング
7	リラクゼーション
8	他者観察
9	個人差を考慮したコーチング、日常における
10	運動感覚、運動学習
11	フィードバック、心理的サポート・集中力
12	イメージトレーニング
13	あがり、プレッシャー、スランプ
14	性格/自己概念
15	終講試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校					
					○		令和6年度		スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部	
授業科目名	キャリアアップセミナーA					担当者名		宮脇 望				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	<p>自然療法の1つとして取り入れられているアロマセラピーをスポーツの分野に活かし、早期の疲労回復、スポーツ障害のケア、怪我の予防、ストレスによる不調の改善などを行うことをスポーツアロマと称しています。トップアスリートのコンディショニングとして取り入れられているスポーツアロマの理論・技術（下肢）の習得を旨とします。</p>											
到達目標	<p>トップアスリートのコンディショニングとして取り入れられているスポーツアロマの理論・技術（下肢）を習得する。</p>											
成績評価	<p>原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。</p>											
その他	<p>宮脇望（鍼灸院にて鍼灸師・トレーナーとして勤務） 実技実習の際は実技のできる格好とタオルが必要。その他持ち物については初回に説明します</p>											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツアロマとは アロマセラピーとの違い
2	アロマセラピーの歴史と基礎学
3	精油学 精油1つ1つの特徴
4	基材論・精油の化学
5	関係法規・リフレッシュスプレー作成
6	ドーピングについて
7	トリートメントの禁忌・トリートメントの基礎
8	ドライヘッドトリートメント
9	下肢後面実技①
10	下肢後面実技②
11	痛み緩和オイル作成・下肢前面実技①
12	下肢前面実技②
13	ハンドトリートメント
14	総合実技
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	キャリアアップセミナーB					担当者名		大歳 章祐			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	期末には整体セラピスト検定3級受験を行い、セラピストとして必要な知識・技術の取得を目的とする。整体セラピスト検定3級の合格と同時に現場で施術が行えるセラピストを目指す。										
到達目標	整体セラピスト検定3級に合格する。 整体セラピストとして現場で施術が行えるセラピストになる。										
成績評価	資格取得をもって単位修得とする。										
その他	大歳章祐（鍼灸師・スポーツトレーナーとして選手に帯同）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	整体セラピストになる 3級	山本 珠美 (NPO法人日本セラピスト協会代表理事)	BABジャパン
参考図書			

回数	授業計画
1	ZERO100プロジェクト・整体セラピスト検定とは
2	整体セラピスト学・施術の基礎
3	接遇
4	骨学 骨の基礎
5	筋肉の基礎
6	血液・リンパの基礎
7	内臓の基礎
8	施術実技―腰背部―
9	施術実技―下肢部―
10	施術実技―頸部・肩部―
11	施術実技―全体の流れ―
12	整体セラピスト検定 3級 筆記試験対策
13	整体セラピスト検定 3級 筆記試験対策
14	整体セラピスト検定 3級 筆記試験対策
15	終講試験



科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野							
					○							
授業科目名	キャリアアップセミナーC					担当者名		寺田 尊紀				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	背骨コンディショニングの概要を知る。 フィットネスに関する基礎知識を習得する。 背骨コンディショニング・インストラクター筆記試験に合格する。											
到達目標	背骨コンディショニング・インストラクター筆記試験に合格する。											
成績評価	資格試験合格をもって単位修得とする。											
その他	寺田尊紀（フィットネスクラブにおいてインストラクターとして勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	背骨コンディショニングインストラクター教本	日野秀彦	国際志学園
参考図書			

回数	授業計画
1	背骨コンディショニングの効果、魅力を知る「腰痛解決講座」
2	指導のコツ、指導3原則
3	解剖学 全身の骨格
4	背骨の歪みと神経の牽引について
5	マインドと背骨コンディショニングの3要素
6	グループ体操のカリキュラム
7	協会理念「からだ革命」基礎理論、グループ体操（腰部編）
8	グループ体操（腰部、首、肩編）
9	フィットネス基礎理論
10	グループ体操（首、肩編）
11	グループ体操（腰部編）
12	トレーニング・トレーニングサイクル3原理、5つのトレーニング原則
13	筋力アップ実技
14	筋力アップ実技
15	背骨コンディショニング・インストラクター筆記試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野								
					○								
授業科目名	キャリアアップセミナーD					担当者名		寺田 尊紀					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
授業概要	背骨コンディショニングに関する実技を行う。 フィットネス実技の基礎知識を習得する。 背骨コンディショニング実技試験に合格する。												
到達目標	背骨コンディショニング実技試験に合格する。												
成績評価	資格試験合格をもって単位修得とする。												
その他	寺田尊紀（フィットネスクラブにおいてインストラクターとして勤務）												

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	背骨コンディショニングインストラクター教本	日野秀彦	国際志学園
参考図書			

回数	授業計画
1	背骨コンディショニングの効果、魅力を知る「腰痛解決講座」
2	背骨コンディショニングとは、指導者の心構え
3	全身の筋肉、背骨コンディショニング基本理論
4	主な神経と関連する病気
5	実技
6	グループ体操シミュレーション
7	グループ体操（腰部編）
8	グループ体操（首、肩編）
9	フィットネス基礎理論
10	背骨コンディショニング各種検査
11	基礎理論 解剖学
12	フィードバックシートに沿ったグループ体操（腰・首）
13	筋力アップ実技
14	腰・首・肩グループ体操シミュレーション
15	背骨コンディショニング実技試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野						
					○						
授業科目名	スポーツ自由研究A					担当者名	花澤 晃宏				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	スポーツトレーナーに必要な測定と評価について、その目的と意義を学習していく。										
到達目標	スポーツトレーナーに必要となるROMやMMTの測定と評価ができるようになる。										
成績評価	終講試験・出席率・授業態度にて総合的に評価してく。										
その他	花澤晃宏（整形外科において理学療法士・アスレティックトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	アスレティックトレーニング学	広瀬統一・泉重樹 上松大輔・笠原政志	文光堂
参考図書			

回数	授業計画
1	関節可動域検査の目的と意義
2	膝関節のROM
3	足関節のROM
4	肩関節のROM
5	肘関節・手関節・股関節のROM
6	復習
7	徒手筋力検査の目的と意義
8	膝関節のMMT
9	股関節のMMT
10	足関節のMMT
11	肩関節MMT
12	肘関節MMT
13	手関節MMT
14	復習
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	スポーツ自由研究B					担当者名		長澤 和花			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	健康運動実践指導者養成用テキストを用いて、健康運動実践指導者資格筆記試験合格に向けた対策授業を行っていく。テキストの解説、練習問題を解きながら、学習の定着を図る。										
到達目標	健康づくり施策の概要を理解する。 健康づくりにかかる各種運動とその実際をマスターする。										
成績評価	終講試験・出席率・授業態度にて総合的に評価する。										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康運動実践指導者資格養成用テキスト	健康・体力づくり事業財団	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	健康づくり施策概論
2	運動生理学
3	機能解剖とバイオメカニクス
4	栄養摂取と運動
5	体力測定と評価
6	健康づくりと運動プログラム
7	運動指導の心理的基礎
8	健康づくり運動の実際（ウォーミングアップとクールダウン）
9	健康づくり運動の実際（ストレッチング）
10	健康づくり運動の実際（ウォーキングとジョギング）
11	健康づくり運動の実際（エアロビックダンス）
12	健康づくり運動と実際（レジスタンスエクササイズ）
13	運動障害と予防・救急処置
14	総復習
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校							
			○	令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部				
授業科目名	スポーツ自由研究C			担当者名	範 菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスレティックリハビリテーションの目的を知り、アスレティックリハビリテーションを行う上で必要になる知識を習得していく。</li> <li>・各種エクササイズの正しい方法を知り、指導ができるようにしていく。</li> <li>・物理療法の基礎的な知識を習得する。</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスレティックリハビリテーションに用いる運動療法を実施することができるようになる。</li> <li>・いろいろな疾患に対するアスレティックリハビリテーションを実施できるようになる。</li> </ul>										
成績評価	終講試験・出席率・授業態度で総合的に評価する										
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	アスレティックトレーニング学	広瀬統一・泉重樹 上松大輔・笠原政志	文光堂
参考図書			

回数	授業計画
1	アスレティックリハビリテーションの概要1
2	アスレティックリハビリテーションの概要2
3	運動療法1
4	運動療法2
5	物理療法1
6	物理療法2
7	頸椎捻挫へのアスレティックリハビリテーション1
8	頸椎捻挫へのアスレティックリハビリテーション2
9	腰部疾患へのアスレティックリハビリテーション1
10	腰部疾患へのアスレティックリハビリテーション2
11	肩関節前方脱臼へのアスレティックリハビリテーション1
12	肩関節前方脱臼へのアスレティックリハビリテーション2
13	投球障害肩へのアスレティックリハビリテーション1
14	投球障害肩へのアスレティックリハビリテーション2
15	終講試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校					
					○		令和6年度		スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部	
授業科目名	スポーツ自由研究D					担当者名		範 菜々美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									30			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスレティックリハビリテーションの目的を知り、アスレティックリハビリテーションを行う上で必要になる知識を習得していく。</li> <li>・各種エクササイズの正しい方法を知り、指導ができるようにしていく。</li> <li>・物理療法の基礎的な知識を習得する。</li> </ul>											
到達目標	肘関節から手関節にかけてと、下肢の各疾患に対するアスレティックリハビリテーションを実施することができるようになる。											
成績評価	終講試験・出席率・授業態度で総合的に評価する											
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	アスレティックトレーニング学	広瀬統一・泉重樹 上松大輔・笠原政志	文光堂
参考図書			

回数	授業計画
1	外傷性肘MCL損傷へのアスレティックリハビリテーション1
2	外傷性肘MCL損傷へのアスレティックリハビリテーション2
3	上腕骨内側・外側上顆炎・非外傷性肘内側側副靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション1
4	上腕骨内側・外側上顆炎・非外傷性肘内側側副靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション2
5	手関節捻挫へのアスレティックリハビリテーション1
6	手関節捻挫へのアスレティックリハビリテーション2
7	足関節捻挫へのアスレティックリハビリテーション1
8	足関節捻挫へのアスレティックリハビリテーション2
9	膝内側側副靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション1
10	膝内側側副靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション2
11	膝前十字靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション1
12	膝前十字靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション2
13	大腿屈筋群肉離れへのアスレティックリハビリテーション1
14	大腿屈筋群肉離れへのアスレティックリハビリテーション2
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	ジュニアスポーツ理論					担当者名	範 菜々美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長に合わせたスポーツ環境を提供していく上で、必要なものを学習していく。</li> <li>・生涯にわたるスポーツに親しむ土壌を作るうえで、動きの発達、心理、栄養、医学といった方面の知識を習得していくことを目標としていく。</li> </ul>										
到達目標	子どもの成長に応じたスポーツ指導を行うための知識を身につける。										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	公認ジュニアスポーツ指導者養成テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会	公益財団法人 日本スポーツ協会
参考図書			

回数	授業計画
1	概論①
2	概論②
3	コーチング①
4	コーチング②
5	体力①
6	体力②
7	動きの発達①
8	動きの発達②
9	心理①
10	栄養①
11	栄養②
12	スポーツ医学①
13	スポーツ医学②
14	女性とスポーツ
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野		令和6年度	和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部				
授業科目名	ジュニアスポーツ実技				担当者名	範 菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理論で学習した内容を踏まえ、子どもたちの運動遊びの選定方法を知り、指導場面に活かせるようになる。</li> <li>・安全管理の下、子どもたちが主体的に取り組むことができるようコーチングスキルの獲得を目指していく</li> </ul>										
到達目標	子どもの発育に応じたスポーツ指導を実践することができるようになる。										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・終講試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>										
その他											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	公認ジュニアスポーツ指導員養成テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会	公益財団法人 日本スポーツ協会
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	発育段階に応じた運動遊び①
2	発育段階に応じた運動遊び②
3	運動遊び・スポーツの指導①
4	運動遊び・スポーツの指導②
5	アイスブレイク①
6	アイスブレイク②
7	運動遊びのアレンジ①
8	運動遊びのアレンジ②
9	年齢・体力に応じた指導①
10	年齢・体力に応じた指導②
11	指導実習（運動プログラムの作成）
12	指導実習（指導実践）
13	指導実習（指導内容の評価）
14	指導実習（指導内容の評価）
15	終講試験



科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	SAQトレーニング実習					担当者名		油谷 信隆			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人日本SAQ協会SAQインストラクターレベル1 資格取得を目標とする</li> <li>・ Speed、Agility、Quicknessの理論を実技を通して学習する</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人日本SAQ協会SAQインストラクターレベル1 資格を取得する。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格試験合格をもって、単位認定とする</li> </ul>										
その他	油谷信隆（スポーツジムにおいてトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	資料配布		
参考図書			

回数	授業計画
1	SAQ概論
2	プリパレーションタイム（講義）
3	プリパレーションタイム（実技）
4	アジリティ（講義）
5	プライオメトリクス（講義）
6	アジリティ（実技）
7	プライオメトリクス（実技）
8	クイックネス（講義）
9	スピード（講義）
10	クイックネス（実技）
11	スピード（実技）
12	体幹トレーニング（講義・実技）
13	総合実習
14	総合実習
15	総合実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	救急処置実習					担当者名		長澤 和花			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	・日本赤十字救急法救急員の資格取得を目標とする										
到達目標	・救急処置の意義と目的を理解する。 ・救急処置を実施する上で必要となる基本的な留意点について理解する。										
成績評価	・資格取得をもって、単位認定とする										
その他	長澤和花（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	赤十字救急法基礎演習・救急法講習教本	日本赤十字社	日本赤十字社
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション
2	(学科) 赤十字救急法について・手当の基本
3	(学科) 一次救命処置
4	(実技) 手当の基本
5	(実技) 一次救命処置
6	(学科) 急病・けが・止血
7	(実技) 止血
8	(実技) きずの手当
9	(学科) 骨折の手当
10	(実技) 骨折の手当①
11	(学科) 搬送・救護
12	(実技) 骨折の手当②
13	(実技) 搬送
14	総合実技
15	実技検定・学科検定

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野							
					○							
授業科目名	トレーナー実習1					担当者名		長澤 和花				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングとジョキングそれぞれの特性や運動効果について学習していく。</li> <li>・スポーツトレーナーとして必要なスポーツマッサージやテーピングを習得する。</li> </ul>											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なスポーツ現場におけるアスレティックトレーナーの役割・必要性を理解する。</li> </ul>											
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点</li> <li>・実技試験</li> <li>・授業態度</li> </ul>											
その他	長澤和花（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康運動実践指導者資格養成用テキスト	健康・体力づくり事業財団	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	ウォーキングとジョキングの特性・運動効果
2	ウォーキングとジョキングの運動効果・速度とエネルギー消費量
3	ウォーキングとジョキングの基本的なフォーム・安全上の注意点
4	ウォーキングとジョキングによる障害と予防法、プログラム作成
5	膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング①
6	膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング②
7	膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング①
8	膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング②
9	アキレス腱、肉離れ、打撲に対するテーピング
10	肘関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング①
11	肘関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング②
12	テーピング総復習
13	テーピング総復習
14	テーピング総復習
15	終講試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校					
					○		令和6年度		スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部	
授業科目名	トレーナー実習2					担当者名		範 菜々美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	・スポーツ現場で起こりうる重篤な外傷や、体幹・上肢・下肢のスポーツ外傷・障害について学習していく。											
到達目標	・選手のコンディショニングを現状把握していくことで、必要なアスレティックトレーナーのスキルを習得する。											
成績評価	終講試験・出席率・授業態度から総合的に評価する											
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	アスレティックトレーニング学	広瀬統一・泉重樹 上松大輔・笠原政志	文光堂
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	スポーツ外傷・障害について
2	頭部・顔面の外傷（皮膚損傷、骨折、脳損傷）
3	頭部・顔面の外傷（迷路振盪、耳介血腫、歯牙脱臼・破折）
4	頭部・顔面の外傷（脳振盪）
5	胸部・腹部の外傷・障害（肋骨骨折、肋骨疲労骨折、気胸・血胸）
6	胸部・腹部の外傷・障害（心臓振盪、腹直筋肉離れ、腹部外傷）
7	脊柱の外傷・障害（椎間板ヘルニア・椎間関節障害）
8	脊柱の外傷・障害（腰椎分離症・仙腸関節障害）
9	肩甲骨・肩関節の外傷・障害（肩関節前方脱臼）
10	肩甲骨・肩関節の外傷・障害（肩鎖関節脱臼）
11	肩甲骨・肩関節の外傷・障害（腱板損傷、関節唇損傷）
12	肩甲帯・肩関節の外傷・障害（投球障害肩）
13	総復習①
14	総復習②
15	終講試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校					
					○		令和6年度		スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部	
授業科目名	トレーナー実習3					担当者名		大歳 章祐・尾藤 何時夢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数		前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30					
授業概要	スポーツ現場で必要となるスポーツマッサージを、バランス整体を通して習得していく。実際にスポーツ現場実習で実践できるように、実技をメインに行っていく。											
到達目標	・スポーツ現場においてアスレティックトレーナーとしてのスキルを発揮できるようになる。											
成績評価	終講試験・出席率・授業態度を総合的に評価する。											
その他	大歳章祐（鍼灸師・スポーツトレーナーとして選手に帯同）、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）											

使用教材	書籍名		著者名		出版社名	
教科書	資料配布					
参考図書						

回数	授業計画											
1	スポーツトレーナーとは											
2	バランス整体 理論と基礎											
3	姿勢分析・動診											
4	バランス整体 （軽擦法、伸張法）											
5	バランス整体 （強擦法、手根圧迫法）											
6	バランス整体 （母指圧のかけ方、圧の方向）											
7	バランス整体 （背部・腰部の施術）											
8	バランス整体 （腰部・臀部の施術）											
9	バランス整体 （下肢後面・下腿後面の施術）											
10	バランス整体 （肩部・肩甲骨・頸部の施術）											
11	バランス整体 （下肢前面、股関節の施術）											
12	バランス整体 （上腕部・前腕部の施術）											
13	バランス整体 （頸部の施術）											
14	バランス整体 （全体の流れ）											
15	終講試験											

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー実習4					担当者名	長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	・スポーツ現場での実習を通して、スポーツトレーナーとして学習してきた内容を活かす										
到達目標	・在学中に学んだ知識を活用し、スポーツ現場において実践し、アスレティックトレーナーとしての経験値を高める。										
成績評価	・出席点、実習態度などで評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツ現場実習
2	スポーツ現場実習
3	スポーツ現場実習
4	スポーツ現場実習
5	スポーツ現場実習
6	スポーツ現場実習
7	スポーツ現場実習
8	スポーツ現場実習
9	スポーツ現場実習
10	スポーツ現場実習
11	スポーツ現場実習
12	スポーツ現場実習
13	スポーツ現場実習
14	スポーツ現場実習
15	スポーツ現場実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー実習5					担当者名		長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	・スポーツ現場での実習を通して、スポーツトレーナーとして学習してきた内容を活かす										
到達目標	・在学中に学んだ知識を活用し、スポーツ現場において実践し、アスレティックトレーナーとしての経験値を高める。										
成績評価	・出席点、実習態度などで評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツ現場実習
2	スポーツ現場実習
3	スポーツ現場実習
4	スポーツ現場実習
5	スポーツ現場実習
6	スポーツ現場実習
7	スポーツ現場実習
8	スポーツ現場実習
9	スポーツ現場実習
10	スポーツ現場実習
11	スポーツ現場実習
12	スポーツ現場実習
13	スポーツ現場実習
14	スポーツ現場実習
15	スポーツ現場実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー実習6					担当者名		長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	・スポーツ現場での実習を通して、スポーツトレーナーとして学習してきた内容を活かす										
到達目標	・在学中に学んだ知識を活用し、スポーツ現場において実践し、アスレティックトレーナーとしての経験値を高める。										
成績評価	・出席点、実習態度などで評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツ現場実習
2	スポーツ現場実習
3	スポーツ現場実習
4	スポーツ現場実習
5	スポーツ現場実習
6	スポーツ現場実習
7	スポーツ現場実習
8	スポーツ現場実習
9	スポーツ現場実習
10	スポーツ現場実習
11	スポーツ現場実習
12	スポーツ現場実習
13	スポーツ現場実習
14	スポーツ現場実習
15	スポーツ現場実習



科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー応用実習1					担当者名		範 菜々美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	・スポーツ現場で起こりうる重篤な外傷や、体幹・上肢・下肢のスポーツ外傷・障害について学習していく。										
到達目標	・スポーツ現場における応急処置に必要なスペシャルテストの評価方法を実践できるようになる。										
成績評価	終講試験・出席率・授業態度から総合的に評価する										
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	アスレティックトレーニング学	広瀬統一・泉重樹 上松大輔・笠原政志	文光堂
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	上肢の外傷・障害（上肢の神経障害、上腕骨骨折、MCL損傷）
2	上肢の外傷・障害（テニス肘、滑膜ひだ障害、離断性骨軟骨炎）
3	上肢の外傷・障害（TFCC、コーレス骨折、舟状骨骨折、有鉤骨骨折）
4	大腿部の外傷・障害（チャーリーホース、骨化性筋炎、肉離れ）
5	大腿部の外傷・障害（裂離骨折、鼠径部周辺部痛）
6	膝関節の外傷・障害（ACL損傷、MCL損傷）
7	膝関節の外傷・障害（半月板損傷、鷲足炎）
8	膝関節の外傷・障害（腸脛靭帯炎、PF障害、ジャンパー膝）
9	足関節・下腿部の外傷・障害（足関節捻挫）
10	足関節・下腿部の外傷・障害（脛骨過労性骨膜炎、疲労骨折）
11	足関節・下腿部の外傷・障害（アキレス腱炎、アキレス腱断裂、コンパートメント症候群）
12	足部の外傷・障害（疲労骨折、リスフラン関節脱臼骨折、母指種子骨障害、三角骨障害）
13	足部の外傷・障害（足底腱膜炎、外脛骨障害、足根管症候群、モートン病）
14	総復習
15	終講試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校					
					○		令和6年度		スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部	
授業科目名	トレーナー応用実習2					担当者名		範 菜々美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									30			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスレティックリハビリテーションの目的を知り、アスレティックリハビリテーションを行う上で必要になる知識を習得していく。</li> <li>・各種エクササイズの正しい方法を知り、指導ができるようにしていく。</li> <li>・物理療法の基礎的な知識を習得する。</li> </ul>											
到達目標	・各症例に応じたアスレティックリハビリテーションの立案、指導ができるようになる。											
成績評価	終講試験・出席率・授業態度で総合的に評価する											
その他	範菜々美（整形外科において柔道整復師・アスレティックトレーナーとして勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	アスレティックトレーニング学	広瀬統一・泉重樹 上松大輔・笠原政志	文光堂
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	扁平足障害へのアスレティックリハビリテーション1
2	扁平足障害へのアスレティックリハビリテーション2
3	脛骨過労性骨障害へのアスレティックリハビリテーション1
4	脛骨過労性骨障害へのアスレティックリハビリテーション2
5	鷲足炎へのアスレティックリハビリテーション1
6	鷲足炎へのアスレティックリハビリテーション2
7	膝蓋大腿関節障害へのアスレティックリハビリテーション1
8	膝蓋大腿関節障害へのアスレティックリハビリテーション2
9	競技種目特性に基づいたリハビリテーションプログラミング1
10	競技種目特性に基づいたリハビリテーションプログラミング2
11	競技種目特性に基づいたリハビリテーションプログラミング3
12	競技種目特性に基づいたリハビリテーションプログラミング4
13	競技種目特性に基づいたリハビリテーションプログラミング5
14	総復習
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー応用実習3					担当者名		長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	・スポーツ現場での実習を通して、スポーツトレーナーとして学習してきた内容を活かす										
到達目標	・各症例に応じたアスレティックリハビリテーションの立案、指導ができるようになる。										
成績評価	・出席点、実習態度などで評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツ現場実習
2	スポーツ現場実習
3	スポーツ現場実習
4	スポーツ現場実習
5	スポーツ現場実習
6	スポーツ現場実習
7	スポーツ現場実習
8	スポーツ現場実習
9	スポーツ現場実習
10	スポーツ現場実習
11	スポーツ現場実習
12	スポーツ現場実習
13	スポーツ現場実習
14	スポーツ現場実習
15	スポーツ現場実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー応用実習4					担当者名		長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	・スポーツ現場での実習を通して、スポーツトレーナーとして学習してきた内容を活かす										
到達目標	・各症例に対する傷害の初期評価、応急処置を速やかに実施することができるようになる。										
成績評価	・出席点、実習態度などで評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツ現場実習
2	スポーツ現場実習
3	スポーツ現場実習
4	スポーツ現場実習
5	スポーツ現場実習
6	スポーツ現場実習
7	スポーツ現場実習
8	スポーツ現場実習
9	スポーツ現場実習
10	スポーツ現場実習
11	スポーツ現場実習
12	スポーツ現場実習
13	スポーツ現場実習
14	スポーツ現場実習
15	スポーツ現場実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー応用実習5					担当者名		長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	・スポーツ現場での実習を通して、スポーツトレーナーとして学習してきた内容を活かす										
到達目標	・各症例に対する傷害の初期評価、応急処置を速やかに実施することができるようになる。										
成績評価	・出席点、実習態度などで評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツ現場実習
2	スポーツ現場実習
3	スポーツ現場実習
4	スポーツ現場実習
5	スポーツ現場実習
6	スポーツ現場実習
7	スポーツ現場実習
8	スポーツ現場実習
9	スポーツ現場実習
10	スポーツ現場実習
11	スポーツ現場実習
12	スポーツ現場実習
13	スポーツ現場実習
14	スポーツ現場実習
15	スポーツ現場実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	トレーナー応用実習6					担当者名		長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	・スポーツ現場での実習を通して、スポーツトレーナーとして学習してきた内容を活かす										
到達目標	・各症例に対する傷害の初期評価、応急処置を速やかに実施することができるようになる。										
成績評価	・出席点、実習態度などで評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツ現場実習
2	スポーツ現場実習
3	スポーツ現場実習
4	スポーツ現場実習
5	スポーツ現場実習
6	スポーツ現場実習
7	スポーツ現場実習
8	スポーツ現場実習
9	スポーツ現場実習
10	スポーツ現場実習
11	スポーツ現場実習
12	スポーツ現場実習
13	スポーツ現場実習
14	スポーツ現場実習
15	スポーツ現場実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野		令和6年度	和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			スポーツトレーナー学科	昼間Ⅱ部				
授業科目名	生涯スポーツトレーナー実習1				担当者名	長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZERO-100プロジェクトを通して、高齢者の健康づくりのサポートを行えるよう学んでいく。</li> <li>・自身でウォーミングアップ、クールダウン、トレーニングプログラムを作成し、実践する。</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツ選手のサポートに必要な知識を習得する。</li> </ul>										
成績評価	出席率、授業態度で総合的に評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	ZERO-100プロジェクト 初回体力測定・シニアスポーツドック
2	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
3	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
4	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
5	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
6	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
7	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
8	ZERO-100プロジェクト 中間体力測定、シニアスポーツドック
9	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
10	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
11	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
12	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
13	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
14	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
15	ZERO-100プロジェクト 最終体力測定・シニアスポーツドック（介護予防事業）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野		令和6年度	和歌山医療スポーツ専門学校 スポーツトレーナー学科 昼間Ⅱ部					
			○								
授業科目名	生涯スポーツトレーナー実習2				担当者名	長澤 和花・範 菜々美・尾藤 何時夢					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZERO-100プロジェクトを通して、高齢者の健康づくりのサポートを行えるよう学んでいく。</li> <li>・自身でウォーミングアップ、クールダウン、トレーニングプログラムを作成し、実践する。</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツ選手におけるコンディショニングづくりに必要な知識を習得し、実践できるようになる。</li> </ul>										
成績評価	出席率、授業態度で総合的に評価										
その他	長澤和花（実務経験なし）、範菜々美（整形外科においてアスレティックトレーナー・柔道整復師として勤務、尾藤何時夢（接骨院にて柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	ZERO-100プロジェクト 初回体力測定・シニアスポーツドック
2	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
3	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
4	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
5	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
6	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
7	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
8	ZERO-100プロジェクト 中間体力測定、シニアスポーツドック
9	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
10	ZERO-100プロジェクト 高齢者へのエクササイズプログラム作成
11	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
12	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
13	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
14	ZERO-100プロジェクト エクササイズプログラムの実践
15	ZERO-100プロジェクト 最終体力測定・シニアスポーツドック（介護予防事業）



科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	フィットネスエクササイズ1					担当者名		寺田 尊紀			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	有酸素運動の特性と効果を理解し、ウォーキングとジョキング、水泳・水中運動の基礎動作を習得する。また、相手に適切な指示出しや指導ができるようになる。										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康運動実践指導者実技試験に必要なレジスタンス、エアロビクス指導技術を習得する。</li> <li>年齢やニーズに応じたレジスタンストレーニング、エアロビクスのプログラムを立て、指導するための組織力・指導力を習得する。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席点</li> <li>終講試験</li> <li>授業態度</li> </ul>										
その他	寺田尊紀（フィットネスクラブにおいてインストラクターとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体力づくり事業団	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	水泳・水中運動とは・水泳・水中運動の特性
2	水泳・水中運動の効果・安全に対する注意
3	水中運動の実技①
4	水中運動の実技②
5	水中運動の実技③
6	水中運動の実技④
7	エアロビックダンス1
8	エアロビックダンス2
9	エアロビックダンス3
10	エアロビックダンス4
11	エアロビックダンス5
12	エアロビックダンス6
13	エアロビックダンス7
14	総復習
15	終講試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校					
			○			令和6年度	スポーツトレーナー学科		昼間Ⅱ部		
授業科目名	フィットネスエクササイズ2					担当者名		寺田 尊紀			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	エアロビックダンスの特性と効果を理解し、エアロビックダンスの基礎動作を習得する。 また、音楽に合わせた指示出しや指導ができるようになる。										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康運動実践指導者実技試験に必要なレジスタンス、エアロビクス指導技術を習得する。</li> <li>年齢やニーズに応じたレジスタンストレーニング、エアロビクスのプログラムを立て、指導するための組織力・指導力を習得する。</li> </ul>										
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席点</li> <li>終講試験</li> <li>授業態度</li> </ul>										
その他	寺田尊紀（フィットネスクラブにおいてインストラクターとして勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	健康・体力づくり事業団	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	エアロビックダンスについて・エアロビックダンスの特性と効果
2	エアロビックダンスの運動強度
3	エアロビックダンス実施の際の安全に対する注意・指導者の役割
4	エアロビックダンスのプログラム作成法
5	エアロビックダンスの実技①
6	エアロビックダンスの実技②
7	エアロビックダンスの実技③
8	エアロビックダンスの実技④
9	エアロビックダンスの実技⑤
10	エアロビックダンスの実技⑥
11	実技試験に向けた復習①
12	実技試験に向けた復習②
13	実技試験に向けた復習③
14	実技試験に向けた復習④
15	終講試験